

第6章

大阪市生物多様性戦略の推進体制

- 1 戦略の推進にあたって
- 2 進捗状況の検証

第6章 大阪市生物多様性戦略の推進体制

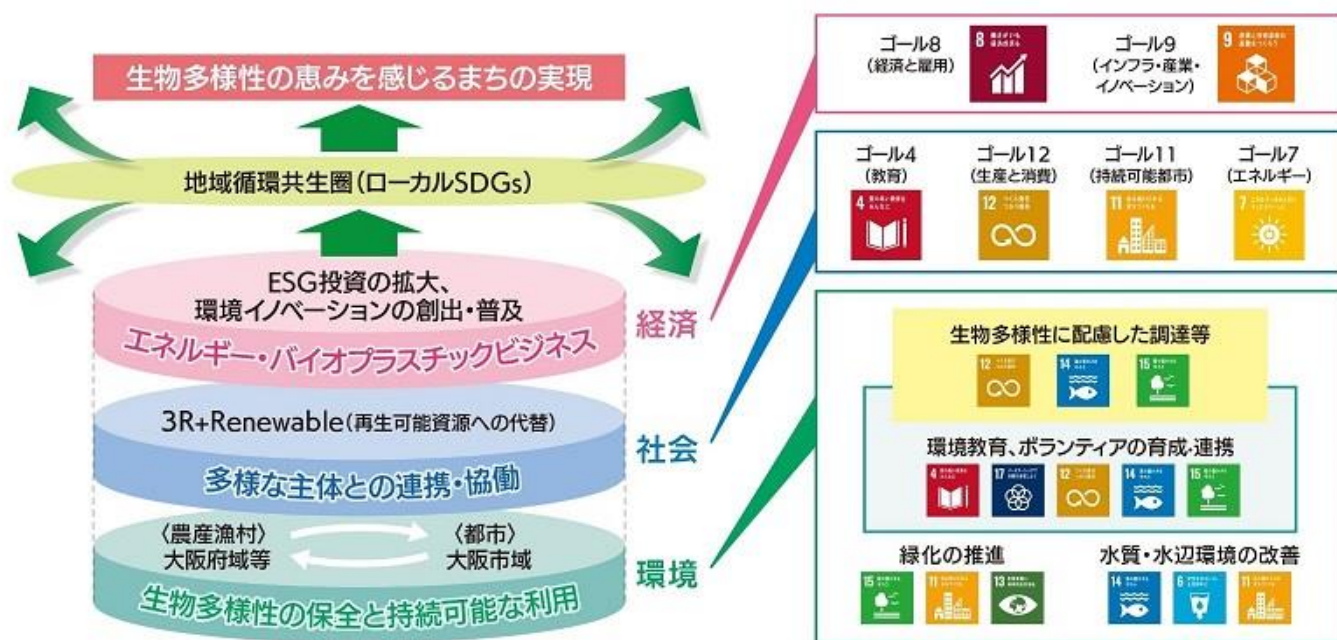
1 戦略の推進にあたって

「生物多様性の恵みを感じるまち」を実現していくためには、市民・環境 NGO/NPO・事業者・研究機関・教育機関・行政などが生物多様性を意識した上で、様々な取組みを推進するとともに、情報発信していくことも重要です。

大阪市内では、これまでも、各主体が生物多様性に関連する独自の取組みを進めているとともに、それぞれが知恵を出しあいながら、各主体間で緩やかなつながりを形成してきました。今後も、生物多様性に関連する様々な主体が集い、情報共有を行い、つながりを拡大・強化していくため、花博記念公園鶴見緑地にある環境活動推進施設（愛称「なにわ ECO スクエア」）や既存のネットワークの仕組みも活用しながら、より多くの人々に生物多様性の意味を知り、自然や生き物を身近に感じてもらえるよう、各主体が行う取組みの情報発信を積極的に行っていきます。

また、教育の場を積極的に活用し、将来を担う子どもたちへの普及啓発の強化をはじめ、様々な主体と連携・協働するとともに、生物多様性の保全と持続可能な利用を促進し、生物多様性保全に貢献する取組みを推進します。

《大阪市生物多様性戦略の推進の概念図》



2 進捗状況の検証

庁内においては、「大阪市地球温暖化対策推進本部」の「区域施策編推進プロジェクトチーム」及び「事務事業編推進プロジェクトチーム」、並びにその下に設置した「生物多様性保全推進ワーキンググループ」を活用し、各部局が連携しながら大阪市生物多様性戦略を推進していきます。

大阪市生物多様性戦略の推進に向けては、PDCA サイクルの手法を重視し、目標の達成状況や取組みの進捗状況（詳細は資料編「大阪市生物多様性戦略（2018-2020）」に基づく取組みの振り返り」を参照）は、大阪市環境白書やホームページに掲載し、公表します。また、計画は、今後の社会情勢変化等を勘案し、適宜見直しを行うこととします。

《庁内の生物多様性保全推進体制（2021年3月現在）》

